

もん・もん・もん

聞・聞・聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成23年11月11日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

法藏菩薩の「五劫思惟」 天岸淨圓

仏教とは、仏様が中心です。そこで、仏様とはどういうおかたなのかを、『仏説無量寿經』を通して学びたいと思います。

浄土真宗のよりどころは、『仏説無量寿經』というお経です。ご承知のように、親鸞聖人の「正信偈」の「帰命無量寿如來」のお言葉は、この『經』から取られたものです。そこには漢訳で無量寿如來、インド語では「阿弥陀仏」といわれる仏様のことがくわしく説かれています。

それによりますと、阿弥陀仏はもと修行されておられたとき、名を法藏菩薩と名のっておられたそうです。その法藏菩薩は、私はこういう実力を持った仏になりたいと、四十八の願いを立てられました。そして、その願いを実現するために、兆載永劫にわたって修行をされたと説かれています。

「正信偈」に「五劫思惟」という言葉があります。『仏説無量寿經』には、法藏菩薩は人びとを救うために、「五劫」という長い時間をかけて救いの方法を考えぬかれたと説かれているのです。そのことを「思惟」とよんでいます。また「五劫」とは、長い、長い時間をあらわす譬えです。ただ、時間の感覚はさまざまです。また、長いといっても、その永さを実感することができません。ところが、インドの人たちはそれを実感させてくれるのです。

たとえば、四十里四方の石があると仮定します。つまり、富士山の四十倍以上という大きな石です。その四十里四方の巨石を、三年に一度天女が羽衣で一さすりするというのです。そして、その巨石が羽衣によって完全にすり減ってしまうまでの時間を、「一劫」と考えるのです。その及びもつかない時間の五倍が「五劫」という時間なのです。それほどの時をかけて法藏菩薩は、私たちの救いを考えてくださったという説話です。

ふり返って自分自身を考えると、私たちは自分の人生を、どれほど真剣に考えているでしょうか。一回きりの人生をどう生きるか、自分にとって本当に間違いない人生とはどのようなことか、真剣に考えたことがあるでしょうか。だから、「五劫思惟」という言葉は、すごいというべきなのです。

これほど長い時間を費やして四十八願を思惟して、その願い通りの実行力を完成するためには、実力を養わねばなりません。その実力を養うための修行の時間は、「五劫」よりも永く「兆載永劫」と説かれています。億・兆の「兆」、千載の「載」、永遠の「永」、そして「劫」です。考え方及ばない時間です。それほどの時間をかけて修行されたと説かれています。

親鸞聖人750回大遠忌法要に参加しました！

京都、西本願寺での親鸞聖人、750回大遠忌法要に神岳保育園の職員で参拝させて頂きました。昨年、小倉組でのお待ち受け法要に全員で参拝して、「園長先生、来年はみんなで、京都に行きたいです。来年、京都に行くことが集大成です」と、みんな、保育園に就職してから、仏教にふれ、仏様のお話を子どもたちに語り、仏様の歌を歌い、まことの保育の大切さをそれぞれに心得てきた。京都では朝5時に起きて、本願寺での御晨朝にお参りして(御堂の屋根の上には、まだお月様が早朝残っていました)午前中の法要に参拝して、本願寺の大きさやお荘厳の素晴らしさ、南無阿弥陀仏の声声に歓喜して、ご門主さまのお言葉に感動して、「お参りできて、本当に良かった」と何度も言っていた。私は二日間、そんな先生方の姿を見ていてずーとありがとうございました。まだ若い先生方が、仏様にて遇到了ことを喜んでいることがたくて仕方がなかった。50年に一度のご縁にたまたまこうやって、巡り合わせて頂いたこと。若い先生方の真摯な姿に感謝できました。こんなに、ありがたいがいっぱいはみんな、親鸞聖人750回忌のご勝縁のお陰様と手を合わさせて頂いています。



平成23年度分 報恩講の際ご進納ください。総代会

- * 『お仏飯米』 お米を「仏飯米供物袋」に入れてお届け願います。
 - * 『門信徒護寺会費』 一世帯について 年間1口 金 3,000円 以上
 - * 『納骨所維持管理費』 当山納骨所使用の方 管理費年間 金 3,000 円
- いづれも過年度分未納額がありましたら納入方お願い致します。不明の場合お尋ね下さい。

『初御講』のご案内

昨年の11月から本年10月までの間で

往生された方 - のおられる家庭が初めての報恩講を迎える」ということで、聖人と共に遺徳を偲んで「初御講 - 特別追悼会」を下記の通りお勤めいたします。過去帳を持参しご参集ください。精進の御斎もご接待させていただきます。おそろいでお参りください。

◎ 11月27日(日) 午前11時30分集合 11時35分開式

一階納骨所にて

準備の都合により、参加の有無をお知らせください。

ご案内

御正忌報恩講法要

11月	25日（金）	26日（土）	27日（日）
昼席	午後1時30分	午後1時30分	午後1時30分
			おとき 12時より

講師 (大分県宇佐市・崇福寺前住職)

本願寺派布教使 前田賢聖師

お寺からのお願いです

「お磨き」11月22日（火）

10:00より15:00まで
報恩講を迎えるにあたり本堂の金仏具を
磨き、納骨堂等のお掃除をします。食事準備
しています。沢山の方のお手伝い男性の方
もお待ちしています。
正善寺女性の会お磨きとあわせ開催しま
す。お集まりください。

「お齋接待」ご案内

正善寺の精進料理を

お召し上がり下さい。

11月27日（日）正午より

《お齋券》をお持ちください
かすみ草の会の皆さんは 9時集合

来年(24年)の年忌法要

()内は来年の対象年次数です。

- 一周忌 (平成23年往生)
- 三回忌 (平成22年往生)
- 七回忌 (平成18年往生)
- 十三回忌 (平成12年往生)
- 十七回忌 (平成8年往生)
- 二十五回忌 (平成1年往生)
- 三十三回忌 (昭和55年往生)
- 五十回忌 (昭和38年往生)

小倉組行事

参寺参り さんてらまいり

小倉組内の28寺で勤められる「報恩講法要」
のうち、3ヶ所の寺院を訪ね、聴聞をかさねまし
ょうという企画です。お参りに行かれた各寺院
にはお寺シールが準備しています。各自で貼つ
て3箇所となったらその寺院に提出してください。
3箇所とはいわずお参りできるだけ訪ねて
も構いません。どうぞご参加下さい。参加証は
各お寺にあります。まずは我がお寺へお

行事ご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

第77回 おゆうぎかい

とき 12月10日【土】 9:30より
ところ 神岳保育園ホール

じょやのかね 除夜会

12月31日(土) 大晦日

午後11時より 午前1時まで

平成24年修正会

元旦 午前1時より(除夜会終了後)

忘年会!!

1年間お世話になりました。今年もたくさん出遇いをいたしました。あいがたいことです。年の瀬のひと時を皆さんと共に過ごしたいと存じます。気軽にご参加ください。お待ちしております。盛り上げますよ!!

とき **12月14日(水) 18:00より**

ところ いいところ

会費 男性 5,500円 女性 5,000円
当日集めます。

申し込み 12月10日までにお寺へ申込み

次回の法要のご案内

春季彼岸法要

【とき】 平成24年 3月 8日(木) 昼席・9日(金) 昼席

【講師】 門司区 浄光寺 前住職 本願寺派布教使 大沼信隆師

編集後記

今年も大切な「御正忌報恩講」をお迎えする11月になりました。11月に入ると少しづつ報恩講の準備を始めるので、気持ちがひきしまっていきます。

先日、里の父と少しだけですが、小倉の町を歩く縁がありました。心臓の三回目のカテーテル検査入院を終えてのことです。二人で並んで歩いていると、私たちの数歩前にビラを配られている女の人がいました。「コンタクトがお得な値段になっています」と言いながら、私にそのビラを渡してくれようとした。私はめがねをかけてるのでビラをうけとりませんでした。そうすると父が「どうして、もらわないのか?」と「えー私コンタクト要らないから」というと「そんなことは関係ない。あなたにと決めて、あなたに差し出してくれたものをどうしてきちんともらわないのか」と「はあー」そして父「自利利他だよ。差し出す人がいて受け止める人がいる」そして「これはついでだがあなたがもらってあげればあの人は少しでも早く家に帰れる」と。ほんの少しの会話ですが父を駅に見送ってから、父の言葉が私の中で大きくなっていました。「あなたに」とお心をさだしていただいているのに、そのことに気づかず「要らない。自分で生きているから」と拒否する心。浄土真宗に出遇い、仏様にいつのときも見守られ、手をさしのべていただいている私たちは、その差し出されたあたたかいお心を受け止めていくべきではと思います。「まだお寺で法話を聞くには早い」「難しい話は分からん」といわれることがあります。お寺によくしてくれる五才の男の子がいました。お棺に入っているおばあちゃんとのこの世でのお別れの時「おばあちゃん、またあえるね。」と、浄土真宗門徒としての大好きな「御正忌報恩講」仏様のお話にお心をかたむけられませんか、心よりおまちしています。 称名